

仙台市下水道受益者負担金システム構築・保守業務委託
デモンストレーション審査実施要領

1 はじめに

本書は、「仙台市下水道受益者負担金システム構築・保守業務委託」の調達に係る落札者決定基準のうち、デモンストレーション審査に関する事項を取りまとめたものである。

2 審査概要

デモンストレーション審査では、当該システムを利用する本市職員を対象に、提案者がパッケージシステムの操作説明等を実施し、操作性等の評価を実施する。

審査概要は以下のとおりとし、日時・会場等の詳細は別途通知する。

(1) 実施日：令和7年7月2日（水）～7月8日（火）（予定）

(2) 会 場：仙台市役所本庁舎5階第二会議室（予定）

(3) 方 法

- ①提案者の説明員は4名以内とする。
- ②提案者が実際にシステムを操作する画面をスクリーンに投影して実施すること。
- ③提案者は必要に応じて、説明資料を配布又はスクリーンに投影することができる。
ただし、デモンストレーションでの説明範囲を著しく超える資料は認めない。
- ④必要機材のうちスクリーンは本市が準備するものとし、その他の端末、プロジェクター、接続ケーブル等の必要機材は提案者が準備するものとする。
- ⑤今後標準機能として実装する機能及びカスタマイズ・アドオンで対応する機能のうち、審査時点で未構築の機能については、構築後のイメージ図等を用いて説明すること。資料作成にあたっては、操作性・視認性の評価ができるものとする。

3 審査基準

デモンストレーション審査は「4 審査項目」に示す項目について、下表により評価する。なお、現在本市で使用しているシステムの操作性等を基準として「A～C」・「D」・「E」の3段階を評価し、「A～C」の評価は入札参加者間での相対評価により実施する。

評 価	点 数			
	200点満点	150点満点	100点満点	50点満点
A：特に優れている	200点	150点	100点	50点
B：優れている	140点	105点	70点	35点
C：やや優れている	80点	60点	40点	20点
D：同程度である	40点	30点	20点	10点
E：劣っている・評価できない	0点	0点	0点	0点

(注1) 採点結果が280点（全項目で「D」評価の場合の点数）に満たない場合は、本調達の目的を満たしておらず、欠格事項③に該当するものとし、失格とする。

(注2) 技術提案書において「提案日時点でパッケージシステムの標準機能等で実装している」機能について、デモンストレーションにおいてその機能が確認できない場合は、欠格事項⑤に該当するものとし、失格とする場合がある。

4 審査項目

デモンストレーション審査における審査項目、配点及び割当時間を表1、評価内容を表2に示す。

表1 審査項目一覧

機能	審査項目	配点(満点)		割当時間
		操作性	視認性	
基本機能	システムの基本操作・基本設定について以下を審査 ・起動手順, メインメニューの見方・操作 ・ユーザー登録, 権限設定 ・システム全体に関わる機能, 操作	150	50	5 分
受益者台帳	受益者台帳の操作について以下を審査 ・受益者台帳の表示の内容, 検索操作 ・受益者の登録(新規登録・編集の一連の流れを提示) ・受益者台帳の出力操作, 出力内容	200	50	10 分
負担金調定	受益者負担金等の調定操作について以下を審査 ・調定の登録(負担金計算の設定等の一連の流れ(計算方法・単価の設定方法を含む)を提示) ・調定情報の一覧及び個別表示の内容, 検索操作	200	50	10 分
賦課	賦課の操作について以下を審査 ・賦課の登録(納付書発行の一連の流れを提示) ・賦課情報の一覧及び個別表示の内容, 検索操作 ・帳票(納付書等)の出力操作, 出力内容	100	50	5 分
収納	収納の操作について以下を審査 ・収納の登録(バーコード読取等の一連の流れを提示) ・収納情報の一覧及び個別表示の内容, 検索操作 ・過誤納金管理に関する操作	100	50	5 分
滞納整理	滞納整理の操作について以下を審査 ・滞納者台帳の表示の内容, 検索操作 ・滞納処分等に関する操作(督促・時効管理・延滞金計算・不納欠損等の一連の流れを提示)	200	50	10 分
統計	普及率等の統計操作について以下を審査 ・統計作業に関する操作(一連の流れを提示) ・データの取込・出力操作, 出力内容	100	50	5 分
合計		1,400 点		50 分

表2 審査基準毎の評価内容

評価基準	評価内容
操作性	(操作方法の分かりやすさに関する評価) ・目的の画面に簡単に到達できるか ・操作方法が明らかなか ・エラー時に必要な対応の特定が容易か ・共通内容の一括入力等 ・初期表示や入力履歴参照等による入力回数削減の工夫 ・誤登録を防止する工夫(エラーチェック・権限管理等)
視認性	(画面の見やすさに関する評価) ・一画面の情報量は適切か ・表示画面のレイアウト, アクションボタンの配置等により直観的に理解できる工夫がされているか